2026 DISCLOSURE

The first half of the year

2026年度上半期 業績のご報告



実践型インターンシップ



京都産業大学インターンシップ



幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

理事長　あいさつ

幸せのYuki-Shin
ゆきぐに信用組合

理事長　小野澤　一成
Onozawa　Kazunari



当組合の代名詞にもなりつつある「地域同期会」を今年は3回シリーズにて実施した。5月と7月と9月に同一メンバーにて開催した。

同じメンバーが顔見知りとなり「この前はどうも」と挨拶を交わす、自然に仲が良くなり連絡先を交換する。

「今日この後二次会へ行こうかと話がまとまる」この交流を待っていた。

若者同士のネットワーク化を図ることを目的に毎年開催してきた「地域同期会」がここにきてようやく実を結んだ感がある。

8月に開講して5月に修了する「ゆきしん経営塾」は、年4回シリーズで同一メンバーが集う、毎回出席して交流を図れば、仲間が生まれ、新たな関係性が誕生する。過去には、コラボからジョイントし経営統合に至ったケースがある。出会いの場を作るのが当組合の役割で、今年8月には「第8期」としての取組が始まった。どんなドラマが生まれるか楽しみだ。主役は参加者だ。その参加者を担当する「ゆきしん」の職員が全力でサポートする。

今年初めて地元のyukinowaと協力して「実践型インターンシップ事業」を開催した。大学生はyukinowaが勧誘し、地元企業は「ゆきしん」が勧誘する地元企業のお困り事を「大学生」が実際に社員として勤務し解決する。

9月16日に開催した「成果発表会」は異常なほどに盛り上がった。わずか数日の受け入れ期間で「大学生」はまた来たいと願い、企業側は別れを惜しみぜひ当社に入ってくれと望むほどの関係性が生まれた。

yukinowaが考えている「交流人口」から「役割人口」へと発展させていく構図でそのことが示されている。

自治体が推進する「移住定住」はやはりハードルが高い、しかし度々訪問する関係性を構築していけば自ずとその距離は縮まる。受け入れる地元企業は若い優秀な大学生の能力を身近なアウトソースとして活用できる。

ここにまた当組合の新たな柱が誕生した。「未来基金」であり「地域同期会」であり「ゆきしん経営塾」そして「実践型インターンシップ事業」である。

いずれも若者にスポットを当てた事業であり、当組合はこれからも将来を託す“若者”にターゲットした事業へと注力していく。

2026年度上期は予定した事業計画のすべてに満足のいく成果が表れたとは言えないが、それに向かう職員の頑張りには目を見張るものがあった。

「ゆきしん」の職員は確実に成長している。心から感謝している。　以　上



2026年度「半期」事業報告

（2026年10月1日）

（自：2026年4月1日～至：2026年9月30日）

事業の概況

4月12日は「事件撲滅の日」として、16年前の職員不祥事件（預金の流用と着服）を忘れないように、毎年、全役職員が「誓約書」を作成し事件を二度と起こさないことを固く誓っています。

4月20日は全店の営業職員と「営業車」が集合して、車両の総点検を実施し無事故を約束しました。地元警察署の交通課長から交通安全を学び、損保会社の担当より事故を起こした際の対応を学びました。昨年から地域連携の一環として「クマ出没」等の情報のやり取りをする機能が追加されています。

5月の「総代地区会議」では決算のご承認と事業計画と予算のご承認をいただきました。

5月22日に「第7期経営塾」の修了式を実施、8月24日に「第8期経営塾」の開講式を実施、来年5月までの4回シリーズにて開催します。

6月23日の「通常総代会」は、多数の総代の出席により全議案とも可決され承認していただきました。当日は2名の監事が退任されました。「上村亨」氏と「石田和彦」氏はともに2020年6月に就任し、6年間当組合の監事をお務めいただきました。その労に報いるべく「監事退任式」を実施しました。

総代の皆様から、年に一度くらいは地域を超えて総代の交流を図りたいとのご意見ご要望があり、「総代全体懇親会」（73周年）を開催しました。総代同士のネットワークがますます盛んになるように、当日は「総代会運営委員」の皆様のお力をお借りして交流を図り、盛大に開催されました。

今年の「地域同期会」は、5月と7月と9月の3回シリーズにて実施しました。県から担当者が毎回視察参加し、県内金融機関からも同じ取り組みを自分の地域にて実施したいとして視察参加してくれました。

地銀の支店がサテライト化して融資の相談ができずに困っているとのお声があり他行先へ訪問したところ、放っておかれるなどの実態が浮き彫りになり、さらに最寄りの支店機能が低下したことをとても不安視していました。

6月から実施した「農業振興支援資金」（ADS）は米価の急騰と急落を反映して多くの農業者からご相談をいただき、現在は第2弾として11月まで取り扱いを継続しています。

昨年実施した「ゆきしん実践型研修」が大変好評で今年は全国の信用組合からお声がかかり、5月に「山梨県民信用組合」へ、6月に「会津商工信用組合」へ、7月に「青森県信用組合」へ、8月に「中ノ郷信用組合」へ、9月に「西海みずき信用組合」へ、と多くの信用組合を訪問してまいりました。

7月20日に地域と一体となった「防災訓練」「救命救急訓練」「消火訓練」を実施しました。当組合には停電時の「非常電源装置」が全部店に完備されており、いざという時には、地域の避難所として機能するべく、毎年地域と一体となった「防災訓練」を実施しております。

8月16日「信組ゆきぐに奨学金」で支援する高校生を対象に「思い出づくり日帰りバスツアー」を実施、奨学生とその家族が参加し、フォトコンテストも開催、親子で夏休み中の大切な思い出づくりができました。

8月20日「地元企業見学ツアー」が、ゆきぐにの未来基金の奨学生とその卒業生を加えて将来の職業選択の視野を広げることを目的に実施しました。

8月26日から28日まで「京都産業大学」の学生5名が参加した「インターンシップ」を開催しました。

9月3日には、「くみの日週間」の取組として、地元警察署と地域住民と一体となって「防犯訓練」「特殊詐欺防止訓練」を実施しました。思わぬ「凶悪犯罪」が白昼堂々と行われる昨今、職員とお客様の「身の安全」が何よりも優先することを全員で確認しました。

地元の5つの小学校へ「ピーターパン募金」の寄付金を贈呈しました。

9月16日には地元yukinowaと協力し、全国から11名の大学生を地元企業へ招いた「実践型インターンシップ事業」の発表会を実施しました。この事業は、企業の課題を大学生が実際の社員として働く中で成果を上げるという新しいスタイルのもので、次年度以降も継続していく予定です。

今年11月に「興栄信用組合」と「新潟縣信組」が合併します。来年12月には「糸魚川信組」と「新潟縣信組」が合併します。

4年前に新潟県内の信用組合は「11信組」ありましたが、やがて「6信組」になります。小規模の信用組合が単独で経営を続けていくことが、いかに難しく困難を極めているかということの表れでもあります。

その中で「ゆきぐに信用組合」の奮闘ぶりをマスコミが取材して報道してくれています。新聞TVを通じて報道された当組合の地元密着の取組は、多くの皆様から共感と評価をいただいているところです。

人手不足や物価高による倒産とそれによる連鎖倒産が懸念される中、いかに最小のリスクに抑えるかということが重要な課題になっています。

地元の情報をいち早く入手し、お客様に還元することが「ゆきしん」の大切な使命であると考えています。

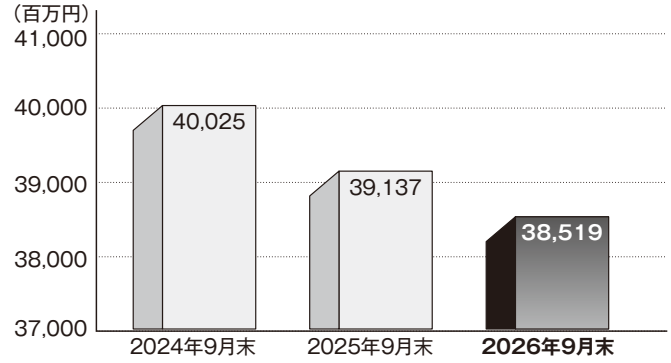
私ども「ゆきしん」は、地元事業者から信頼され頼られる存在であり続けるために、実際に訪問して「お声」を聴くことを大切にして「face to face」にて営業してまいります。引続きのご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げ、半期の『事業報告』とさせていただきます。

以　上

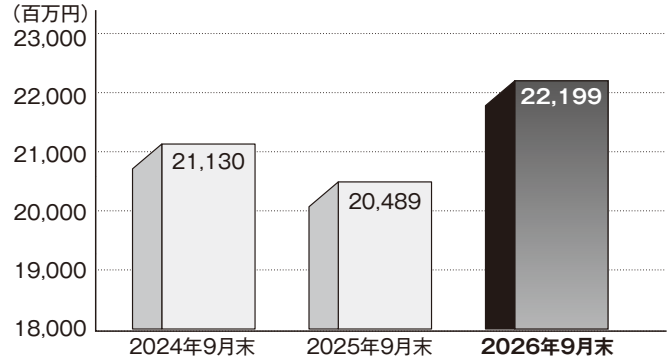
2026年度「半期決算」の報告

主要勘定の推移

預積金残高

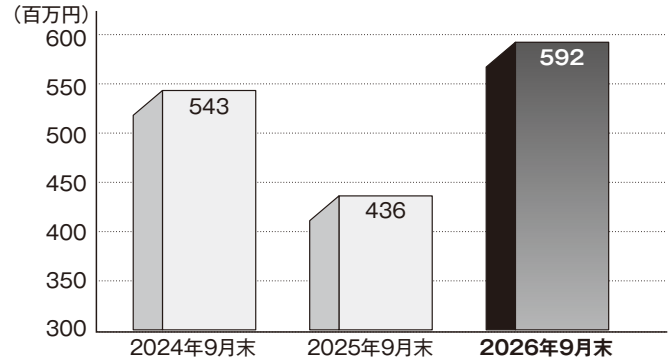


貸出金残高

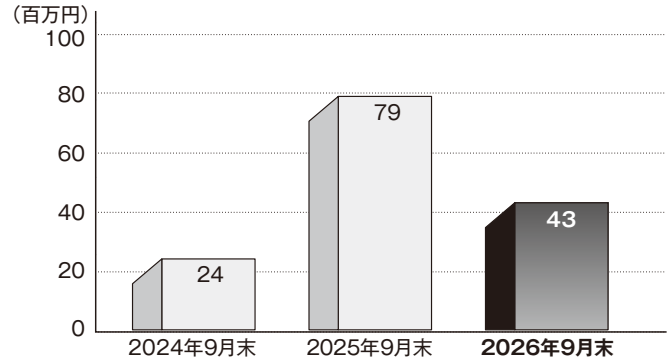


収益等の推移

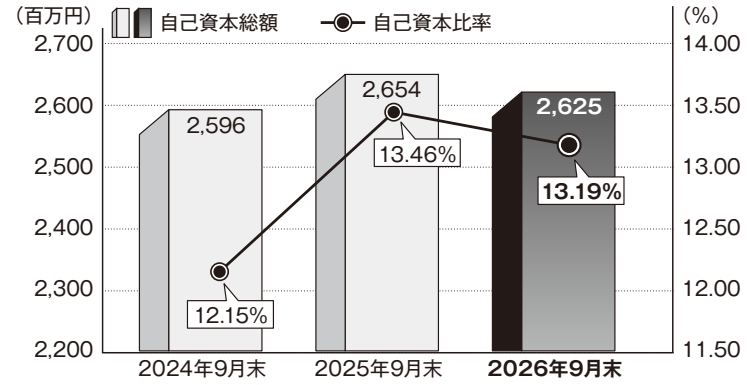
経常収益



当期純利益



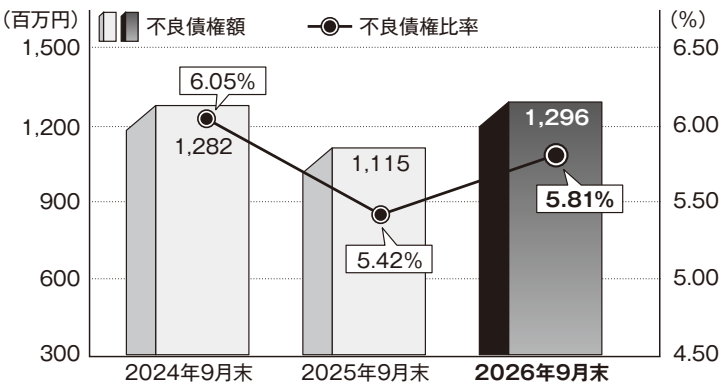
自己資本比率・自己資本額の推移



前年同期に比べて、自己資本額・比率共に若干減少しておりますが、半期末における利益額が減少したためです。自己資本比率は、国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準が求められておりますが、当組合は国際統一基準である8%を大幅に超えており、高い健全性が確保されております。

※2025年3月期末より、バーゼルⅢ新基準による自己資本比率の算定を行っております。

不良債権比率・不良債権額の推移



新たな不良債権の発生により、不良債権額・比率共に若干の増加となっております。2026年度の重点課題として、事業改善支援を進めてきており、既存融資先の業況悪化防止に全力で取組んでおります。

今後も、融資先の業況を確認しながら先手先行で対策を講じ、既存融資先の事業改善に向けて取り組んでまいります。

2026年度「半期決算」の報告

（自：2026年4月1日～至：2026年9月30日）

資産の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2025年9月	（B）今期予算 2026年9月	（C）今期実績 2026年9月	予算対比 〔(C)－(B)〕	実績対比 〔(C)－(A)〕
（資産の部）					
現金	387	450	504	54	117
預け金	14,996	14,506	13,228	▲ 1,278	▲ 1,768
有価証券	5,623	5,273	5,152	▲ 121	▲ 471
貸出金	20,489	21,490	22,199	709	1,710
その他資産	319	328	332	4	13
有形固定資産	457	449	474	25	17
無形固定資産	7	7	6	▲ 1	▲ 1
繰延税金資産	15	20	20	0	5
債務保証見返	61	95	99	4	38
貸倒引当金	▲ 631	▲ 713	▲ 810	▲ 97	▲ 179
資産の部合計	41,726	41,905	41,206	▲ 699	▲ 520

負債の部ならびに純資産の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2025年9月	（B）今期予算 2026年9月	（C）今期実績 2026年9月	予算対比 〔(C)－(B)〕	実績対比 〔(C)－(A)〕
（負債の部）					
預金積金	39,137	39,196	38,519	▲ 677	▲ 618
借用金	0	0	0	0	0
その他負債	107	157	137	▲ 20	30
各種引当金	96	113	113	0	17
繰延税金負債	0	0	0	0	0
債務保証	61	95	99	4	38
負債の部合計	39,403	39,561	38,869	▲ 692	▲ 534
（純資産の部）					
出資金	385	380	381	1	▲ 4
利益剰余金	2,161	2,099	2,132	33	▲ 29
利益準備金	383	380	380	0	▲ 3
その他利益剰余金	1,777	1,719	1,752	33	▲ 25
当期未処分剰余金	232	160	192	32	▲ 40
その他有価証券評価差額金	▲ 222	▲ 135	▲ 176	▲ 41	46
純資産の部合計	2,323	2,344	2,337	▲ 7	14
負債及び純資産の部合計	41,726	41,905	41,206	▲ 699	▲ 520

損益の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2025年9月	（B）今期予算 2026年9月	（C）今期実績 2026年9月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
経常収益	436	423	592	169	156
資金運用収益	419	378	417	39	▲ 2
貸出金利息	236	255	269	14	33
預け金利息	32	53	54	1	22
有価証券利息配当金	146	65	87	22	▲ 59
その他の受入利息	4	5	5	0	1
役務取引等収益	15	15	17	2	2
その他業務収益	1	0	2	2	1
国債等債券売却益	0	0	0	0	0
その他の業務収益	1	0	2	2	1
その他経常収益	0	30	156	126	156
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
株式等売却益	0	30	156	126	156
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経常費用	319	400	493	93	174
資金調達費用	33	48	43	▲ 5	10
預積金利息	33	48	43	▲ 5	10
借用金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	10	10	10	0	0
その他業務費用	1	75	75	0	74
国債等債券売却損	0	75	75	0	75
国債等債券償還損	1	0	0	0	▲ 1
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経費	249	267	257	▲ 10	8
人件費	138	147	146	▲ 1	8
物件費	106	116	106	▲ 10	0
税金	4	4	4	0	0
その他経常費用	25	0	105	105	80
貸倒引当金繰入額	25	0	96	96	71
貸出金償却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	0	0	8	8	8
経常利益	116	23	99	76	▲ 17
特別利益	0	0	0	0	0
固定資産処分益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0
固定資産処分損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	116	23	99	76	▲ 17
法人税、住民税及び事業税	36	12	56	44	20
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当期純利益	79	11	43	32	▲ 36
前期繰越金	153	149	149	0	▲ 4
当期末処分剰余金	232	160	192	32	▲ 40

2026年度（2027年3月末）「決算」の見込

（自：2026年4月1日～至：2027年3月31日）

資産の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2026年3月	（B）今期予算 2027年3月	（C）今期見込 2027年3月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
（資産の部）					
現金	439	450	450	0	11
預け金	14,176	13,167	12,799	▲ 368	▲ 1,377
有価証券	5,273	6,272	5,328	▲ 944	55
貸出金	21,247	21,738	21,534	▲ 204	287
その他資産	334	316	326	10	▲ 8
有形固定資産	469	454	441	▲ 13	▲ 28
無形固定資産	7	7	5	▲ 2	▲ 2
繰延税金資産	20	18	20	2	0
債務保証見返	98	93	94	1	▲ 4
貸倒引当金	▲ 713	▲ 713	▲ 856	▲ 143	▲ 143
資産の部合計	41,353	41,802	40,141	▲ 1,661	▲ 1,212

負債の部ならびに純資産の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2026年3月	（B）今期予算 2027年3月	（C）今期見込 2027年3月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
（負債の部）					
預金積金	38,643	39,135	37,479	▲ 1,656	▲ 1,164
借用金	0	0	0	0	0
その他負債	157	141	137	▲ 4	▲ 20
各種引当金	108	118	118	0	10
繰延税金負債	0	0	0	0	0
債務保証	98	93	94	1	▲ 4
負債の部合計	39,008	39,487	37,828	▲ 1,659	▲ 1,180
（純資産の部）					
出資金	380	380	380	0	0
利益剰余金	2,100	2,135	2,133	▲ 2	33
利益準備金	383	380	380	0	▲ 3
その他利益剰余金	1,716	1,755	1,753	▲ 2	37
当期未処分剰余金	171	196	194	▲ 2	23
その他有価証券評価差額金	▲ 135	▲ 200	▲ 200	0	▲ 65
純資産の部合計	2,344	2,315	2,313	▲ 2	▲ 31
負債及び純資産の部合計	41,353	41,802	40,141	▲ 1,661	▲ 1,212

損益の部

（金額単位：百万円）

科目	（A）前期実績 2026年3月	（B）今期予算 2027年3月	（C）今期見込 2027年3月	予算対比〔(C)－(B)〕	実績対比〔(C)－(A)〕
経常収益	1,050	797	1,007	210	▲ 43
資金運用収益	850	761	812	51	▲ 38
貸出金利息	477	515	548	33	71
預け金利息	69	108	114	6	45
有価証券利息配当金	297	133	142	9	▲ 155
その他の受入利息	5	5	5	0	0
役務取引等収益	33	33	35	2	2
その他業務収益	3	3	4	1	1
国債等債券売却益	0	0	0	0	0
その他の業務収益	3	3	4	1	1
その他経常収益	162	0	156	156	▲ 6
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
株式等売却益	162	0	156	156	▲ 6
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経常費用	987	730	882	152	▲ 105
資金調達費用	71	108	113	5	42
預積金利息	71	108	113	5	42
借用金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	21	21	21	0	0
その他業務費用	210	75	75	0	▲ 135
国債等債券売却損	209	75	75	0	▲ 134
国債等債券償還損	1	0	0	0	▲ 1
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経費	497	526	517	▲ 9	20
人件費	281	298	298	0	17
物件費	210	223	212	▲ 11	2
税金	5	5	5	0	0
その他経常費用	187	0	154	154	▲ 33
貸倒引当金繰入額	183	0	143	143	▲ 40
貸出金償却	0	0	0	0	0
株式等売却損	0	0	0	0	0
その他の経常費用	3	0	11	11	8
経常利益	62	67	125	58	63
特別利益	3	0	0	0	▲ 3
固定資産処分益	3	0	0	0	▲ 3
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	5	0	0	0	▲ 5
固定資産処分損	5	0	0	0	▲ 5
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	60	67	125	58	65
法人税、住民税及び事業税	46	20	80	60	34
法人税等調整額	▲ 4	0	0	0	4
当期純利益	18	47	44	▲ 3	26
前期繰越金	153	149	149	0	▲ 4
当期末処分剰余金	171	196	194	▲ 2	23

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

（金額単位：千円）

区　分	年度別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)＝(B)＋(C)	保全率 (D)／(A)	貸倒引当金引当率 (C)／(A)－(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2024年9月	330,133	90,469	239,664	330,133	100.00 %	100.00 %
	2025年9月	73,533	66,579	6,954	73,533	100.00 %	100.00 %
	2026年9月	44,785	26,137	18,648	44,785	100.00 %	100.00 %
危険債権	2024年9月	689,876	235,547	424,469	660,016	95.67 %	93.43 %
	2025年9月	793,327	297,956	464,525	762,481	96.11 %	93.77 %
	2026年9月	1,129,243	521,667	604,295	1,125,963	99.71 %	99.46 %
要管理債権	2024年9月	262,896	58,167	57,043	115,210	43.82 %	27.86 %
	2025年9月	248,307	54,610	55,195	109,805	44.22 %	28.50 %
	2026年9月	122,249	15,075	20,187	35,262	28.84 %	18.84 %
不良債権計	2024年9月	1,282,906	384,183	721,176	1,105,359	86.16 %	80.24 %
	2025年9月	1,115,169	419,145	526,674	945,819	84.81 %	75.67 %
	2026年9月	1,296,279	562,880	643,131	1,206,011	93.04 %	87.69 %
正常債権	2024年9月	19,930,917					
	2025年9月	19,457,399					
	2026年9月	21,028,259					
合　計	2024年9月	21,213,823					
	2025年9月	20,572,568					
	2026年9月	22,324,538					

不良債権比率

2024年9月	6.05 %
2025年9月	5.42 %
2026年9月	5.81 %

（注）1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3.「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5.「担保・保証等（B）」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6.「貸倒引当金（C）」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

有価証券の時価等情報

1．満期保有目的

（金額単位：百万円）

項　目		2025年9月 貸借対照表計上額	2025年9月 時価	2025年9月 差額	2026年9月 貸借対照表計上額	2026年9月 時価	2026年9月 差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	債　券	－	－	－	－	－	－
	国　債	－	－	－	－	－	－
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社　債	－	－	－	－	－	－
	その他	100	100	0	－	－	－
	小　計	100	100	0	－	－	－
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債　券	597	516	▲ 81	597	434	▲ 162
	国　債	597	516	▲ 81	597	434	▲ 162
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社　債	－	－	－	－	－	－
	その他	700	572	▲ 127	800	586	▲ 213
	小　計	1,297	1,088	▲ 208	1,397	1,020	▲ 376
合　計		1,397	1,189	▲ 208	1,397	1,020	▲ 376

2．その他有価証券

（金額単位：百万円）

項　目		2025年9月 貸借対照表計上額	2025年9月 取得原価	2025年9月 差額	2026年9月 貸借対照表計上額	2026年9月 取得原価	2026年9月 差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株　式	1,057	812	244	1,022	684	337
	債　券	－	－	－	－	－	－
	国　債	－	－	－	－	－	－
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社　債	－	－	－	－	－	－
	その他	753	664	88	287	274	12
	小　計	1,810	1,477	333	1,309	959	350
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株　式	48	49	▲ 1	－	－	－
	債　券	1,954	2,492	▲ 537	1,837	2,297	▲ 459
	国　債	1,311	1,792	▲ 480	1,121	1,497	▲ 375
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社　債	642	700	▲ 57	715	800	▲ 84
	その他	382	399	▲ 17	576	644	▲ 67
	小　計	2,385	2,941	▲ 555	2,414	2,941	▲ 527
合　計		4,195	4,418	▲ 222	3,724	3,901	▲ 176

3．時価評価されていない有価証券

（金額単位：百万円）

項　目	2025年9月 貸借対照表計上額	2026年9月 貸借対照表計上額
その他有価証券	30	30
非上場株式	30	30
非上場外国証券	－	－

地域貢献に関する情報開示

地域に貢献するゆきしんの経営姿勢

当組合は、2023年9月に定款変更を行い、営業エリアを小千谷市、十日町市の旧松代町、松之山町、及び長野県栄村へ拡張しました。「ゆきぐに」地域全体で金融サービスを平等に提供するためです。

「ゆきしん」は、地元の中小零細事業者や住民が組合員となってお互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるきめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうるおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

（単位：百万円、%）

業種別	2025年9月		2026年9月	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	1,505	7.3	1,563	7.0
建設業	1,317	6.4	1,769	8.0
卸売・小売業	2,276	11.0	2,637	11.9
各種サービス業	5,514	27.1	5,851	26.3
その他のサービス	1,794	8.8	1,921	8.7
小計	12,406	60.6	13,744	61.9
地方公共団体	2,729	13.3	3,425	15.4
個人（住宅・消費・納税資金等）	5,352	26.1	5,029	22.7
合計	20,489	100.0	22,199	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

中小企業等金融円滑化に関する取組み

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するものであると考えております。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切ります。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終えるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援を信条としております。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援してまいります。

金融機関との付合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代です。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底してまいります。



監事退任式



総代地区会議（五日町支店）

顧客の組織化と活動実績

本店信栄会

本店信栄会は、11/12㈭に恒例の「ボウリング大会＆蕎麦打ち体験」を開催します。

また２年に一度、会員相互の親睦を深めることを目的として親睦旅行を実施しております。次回の親睦旅行につきましては2027年６月に「韓国・２泊３日」の旅を企画しておりますので、ご興味ある会員の皆様はぜひお問い合わせください。




石打信栄会

石打支店では、8/7㈮に石打支店の「新築10周年記念 ふれあいの集いBBQ」が盛大に開催されました。

石打支店の新築施工にご協力いただいた建設業者の皆様からお祝いやお花を頂戴し、信栄会役員の皆様の設営により、近隣の住民の皆様と大変盛り上がりました。




五日町信栄会

第28回五日町信栄会「ふれあいの集い」　2026年９月６日

八海山麓サイクリングターミナルにて、信栄会員32名、役職員５名の37名が集まり、第28回となる「ふれあいの集い」を開催しました。当日の様子は10月９日のNHK「きらっと新潟」の冒頭でも放送されましたが、小野澤理事長によるじゃんけん大会をはじめ参加者の皆さんの親睦を深める事ができました。




津南信栄会

①　第31回津南信栄会ゴルフコンペ　2026年６月６日

十日町カントリークラブにて信栄会員27名、役職員４名の合計31名にて第31回津南信栄会ゴルフコンペを開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、気持ちよくゴルフをプレー出来ました。ゴルフ後の19番ホール（表彰式・懇親会）は味処か久栄様にて行い、参加者の親睦を深めました。



②　第21回津南信栄会ふれあいの集い　2026年８月８日

ニューグリンピア津南にてふれあいの集いを開催いたしました。役職員10名を含め総勢111名が集まり、とても賑やかなふれあいの集いとなりました。バーベキューの食材もすべて完食！毎年恒例のビンゴ大会や理事長じゃんけん大会も大盛り上がりでした。



小出郷信栄会

①　第17回小出郷信栄会ゴルフ大会　2026年５月23日

越後ゴルフ倶楽部にて信栄会員21名他、職員含めの合計25名にて第17回小出郷信栄会ゴルフ大会を開催いたしました。当初６組の予定でしたが、７組で大勢の会員様から参加していただきました。当日は天候にも恵まれ気持ちよくゴルフをプレー出来ました。若手の会員様からの参加もあり、参加者と職員と交流を深めました。



②　第７回マレットゴルフ大会　2026年８月７日

折立ふれあいの郷にて、信栄会員10名参加でマレットゴルフを開催いたしました。マレットゴルフ不慣れな人も大いに楽しみ、その後の納涼会にて表彰式を行いました。

③　第19回小出郷信栄会納涼会　2026年８月７日

ゆ～パーク薬師にて役職員９名を含め総勢40名でバーベキュー大会を開催いたしました。毎年恒例のビンゴ大会を行い、役職員と会員様及び会員様のご家族・従業員様との交流を図りました。



2026年度上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4/ 2(木)	「ハイウェイ大使委嘱式」（職員2名出席） 会場：万代シルバーホテル
4/20(月)	「地域安全見守り隊」営業車総点検
5/14(木)	「総代地区会議」（津南地区） 会場：津南町商工会
5/14(木)	「総代地区会議」（石打地区） 会場：湯沢公民館
5/14(木)	「総代地区会議」（本店地区） 会場：南魚沼商工会 塩沢支所
5/15(金)	「総代地区会議」（五日町地区） 会場：大巻地区開発センター
5/15(金)	「総代地区会議」（小出郷地区） 会場：小出ボランティアセンター
5/21(木)	「第1回 地域同期会」（3回シリーズ） 会場：南魚沼市ふれ愛支援センター
6/ 3(水)	「全店ボランティア清掃」6月～9月実施
6/14(日)	「第17回・南魚沼グルメマラソン」 （ボランティア）11名
6/23(火)	「通常総代会」 「ゆきぐにの未来基金報告会」 会場：塩沢公民館 講堂 「監事退任式」「総代全体懇親会」 会場：ほてる木の芽坂
7/ 3(金)	「第2回 地域同期会」（3回シリーズ） 会場：クロス10
7/20(月)	「緊急連絡網」「防災訓練」「救急法講習会」
7/28(火)～8/ 4(火)	「海外派遣研修事業」 参加：ゆきしん職員代表「若井杏菜」
8/26(水)～8/28(金)	京都産業大学インターンシップ（5名） 会場：ゆきしん亭及び各店舗
9/ 3(木)	地域防犯訓練（五日町支店・津南支店）
9/ 7(月)～9/15(火)	実践型インターンシップ（2名）
9/11(金)	「第3回 地域同期会」（3回シリーズ） 会場：八海山麓サイクリングターミナル



地域安全見守り隊（営業車総点検）



総代地区会議（石打地区）



通常総代会



海外派遣研修事業



実践型インターンシップ

地域を応援する取組み

軽トラ市

ゆきしん部の活動として、3年目になります。5/3㈰、今年初回の「軽トラ市」は大変大勢のお客様で賑わいました。8/8㈯は、津南町「軽トラ市」にも初出店しました。職員のハンドメイド小物や、お子様に喜んでいただける催し物で盛り上げています。





第17回南魚沼グルメマラソン ボランティア参加

6/14㈰、約４,000人が参加した超人気のグルメマラソンのボランティアに参加しました。ボランティアだけでなく、選手として参加する職員も多数おり、日頃の練習の成果を発揮してくれました。




顧客保護に関する取組み

地域防災訓練・救急法講習会

7/20㈪、緊急時にゆきしんが拠り所になるために、早朝から訓練を開始しました。各営業店には発電機が設置されており、災害時の電源供給が可能です。お困りの際はお尋ねください。




スマホの日

スマホのちょっとしたお困りごとの解決のために毎月15日、ゆきしん亭にてスマホに関してのご相談を承っています。予約制となっておりますので、お近くのゆきしんにお問い合わせください。



金融出前授業

9/16日㈫、湯沢町公民館にて「暮らしに役立つお金のはなし」講座の講師をゆきしん職員が務めました。知っておくと毎日の暮らしがちょっと安心できる情報を、わかりやすくお伝えしました。



地域防犯訓練

9/3㈭、窓口に強盗が来たらどう対応するか、特殊詐欺の被害を出さないためにどうするのか、五日町支店と津南支店で訓練が実施されました。お客様の大切なお金を守るために様々な事例で訓練しています。




文化的、社会貢献に関する取組み

第7期 ゆきしん経営塾 修了式

5/22㈮に、第7期ゆきしん経営塾、全カリキュラムを終了しました。修了式では塾生の皆様に修了証と卒業アルバムを１人１人にお渡ししました。ネットワーク作りだけでなく、他社の経営者、後継者の考えを聞き、自社に活かす経験ができたと大好評でした。





米国NY派遣研修事業

南魚沼市の中高生海外派遣研修事業に、石打支店の若井代理が同行いたしました。「多角的視点を持つことの必要性」と「自らチャンスを掴みに行くチャレンジ精神」を学び、参加学生の成長を実感する有意義な研修となりました。





京都産業大学インターンシップ

8/26㈬～28㈮の3日間、５名の学生が、ゆきしんのユニフォーム・青ポロを着用し、インターンシップに参加してくれました。営業店では直接お客様と面談する機会がありました。事前リサーチをしっかり行い、積極的に質問していました。最終日の発表会では各自が学んだことを自分の言葉で伝えてくれました。









実践型インターンシップ

9/7㈪～9/15㈫に２名のインターンシップ生を受け入れました。今回は一般社団法人yukinowa様のコーディネートで、当組合を含め８つの企業に11名の学生が参加しました。このインターンシップでは参加企業の課題を解決するために、学生目線での分析、提案をしていただきました。参加企業の皆様との交流も深まり、最終日の成果発表会は大いに盛り上がりました。







ピーターパン募金寄付贈呈式

9/3㈭、六日町小学校・栃窪小学校・五十沢小学校・さかえ小中学校・広神西小学校に、各10万円を贈呈しました。子どもたちの学校生活に役立てていただきたいと思います。











外部機関との連携

中小企業基盤整備機構『キヅク君』勉強会

4/24㈮、組合員の事業支援のために、各店の営業係が勉強会に参加しました。商品、取引先ごとの収支構造を可視化させ、目標とする売上や利益達成に向けた事業戦略が検討できるツールです。地域の事業発展に役立てて参ります。





京都産業大学理事長講座

5/18㈪、大学の授業の１コマでゆきしんの取組をご紹介させていただきました。質問も多数いただき、有意義な時間となりました。また、４年生との座談会も実施され、社会人になる前のリアルな声を聞くことができました。



山梨県民信用組合・キックオフ経営塾理事長講演会

5/25㈪、第一回経営塾にお招きいただき、講演会を実施いたしました。参加者はほぼ経営者であり、当組合の取組に金融機関のあるべき姿であると評価していただきました。





塩沢商工高等学校 課題解決型インターンシップ事業

7/3㈭、「高校生から地域課題に取り組んでもらうこと」をテーマに理事長講話を実施。その後グループワークを行い、発表していただきました。





2026 DISCLOSURE

The first half of the year

2026年度上半期 業績のご報告

住吉神社大祭





長崎県 西海みずき信用組合 理事長講演会



幸せのYuki-Shin
ゆきぐに信用組合

ホームページ　https://www.yukiguni.shinkumi.jp/
メールアドレス　shinkumi@pluto.plala.or.jp

公式HP
公式LINE
アカウント

本部（しんくみセンター）	〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4	TEL（025）782-1201㈹ FAX（025）782-4063
本店	〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198	TEL（025）782-1151㈹
石打支店	〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1	TEL（025）783-2962㈹
五日町支店	〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1	TEL（025）776-2691㈹
津南支店	〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3	TEL（025）765-3125㈹
小出郷支店	〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15	TEL（025）792-7766㈹